

2008年6月10日

BMW ザウバーF1 チームがカナダ・グランプリで初優勝

モントリオール (カナダ) 発 過去のレースにおいて快進撃が続くBMW ザウバーF1 チームがカナダ・グランプリ (GP) にて初優勝を決めました。ロバート・クビサが同チーム選手のニック・ハイドフェルドに先立ってゴール・イン、BMW ザウバーが栄えある1-2 フィニッシュを飾りました。この結果、クビサはドライバーズ・ランキングでトップに浮上し、BMW ザウバーF1 チームはコンストラクターズ・ランキングで首位のフェラーリに3ポイント差の2位となりました。

ロバート・クビサ : 優勝

BMW ザウバーF1.08-03/ BMW P86/8

最速ラップ :1:17.539 分 47 周目

「BMW ザウバーF1 チームにとって初めての勝利を挙げる事ができて本当にうれしい。僕の故郷のポーランド、そしてファンたちにとっても嬉しいニュースだったと思うよ。今回は自分にとって、困難が伴うレースだった。ダート側からスタートを切ってから、キミ・ライコネンに並ばれたけれど、必死に持ちこたえた。ピット・インしようと思っていた矢先のセーフティー・カーはタイミングが悪かった。イエロー・ライトの点灯があと3秒遅ければよかったのに...僕は走り続けなくてはならなかった。ピット・レーンが開くと、ほとんどのマシンが同時にピット・インした。僕は赤いライトが出たので、出口でストップしたんだ。キミ(ライコネン)も僕の近くで止まっていたが、ハミルトンが彼のマシンに追突する凄まじい音が聞こえたよ。ルイス(ハミルトン)が僕ではなくてキミにクラッシュしたこと、運に守られたよ。このピット・インの後、僕は前方のマシンに阻まれて、タイムロスしてしまった。ティモ・グロックのマシンは最後にピット・インするから、それを追うしかなかった。21秒の差を埋めるために残されているのは8周という大きな賭けだ。ここで24秒の差を縮めて、ニックより先に出ることができた。その時は少し安心したけれど、いくつかのコーナーでは路面の舗装が剥がれて散乱していたから油断は大敵だ。けれど最後は結果に恵まれたから、今とても嬉しいよ！」

ニック・ハイドフェルド 2 位

BMW ザウバーF1.08-03/ BMW P86/8

最速ラップ :1:17.430 分 25 周目

「ロバートに優勝おめでとうと言いたい。彼は勝利にふさわしい走りだった！僕はスタートでミスをしてしまい、ルーベンス・バリチェロに抜かれてしまった。運よく彼を抜いてから、そのトラックでは先頭集団に入っていた。長時間の走行だったので、皆がピット・インした時、僕は外れていた。かなり無理をしていたからね。そこで、大量の燃料搭載とソフトタイヤを使用するチャレンジングな戦略、「ワン・ストップ作戦」に切り替えた。そしてフェルナンド・アロンソの前を走り続けることができた。彼

の 2 度目のピットインの後、ロバートが僕の前を走っていたから、僕は 2 位を守ることができた。スタートでは 8 位だったにもかかわらず、ゴールを 2 位で終えられたのは快挙だと思う。特に近頃の自分の苦しい状態を考えればね。昨年モナコでアロンソとの接触事故で大破した僕のマシンに新しいシャーシを装備してくれたビンウイルのみんな、本当にどうもありがとう！」

マリオ・タイセン (BMW モータースポーツ・ディレクター)

素晴らしい、圧巻のレースだったよ。言葉では言い表せないくらいだ。今日、すべてがうまく運んだ。モンテリオールの表彰台に立つことを望んでいたけれど、まさかワン・ツー・フィニッシュで優勝するとは思わなかったね。ロバートとニック、そしてミュンヘンとビンウイルにいるチームのみんな、おめでとう！これは画期的な出来事だ。ドライバーたちのミスもなく、戦略が功を奏した。今日は大いに成功を祝いたいね。」

ウィリー・ランブ (テクニカル・ディレクター)

なんとこの光栄！このレースの感動は言葉にならないよ。ドライバーもチームのみんなも今日は完璧だった。ロバートはセーフティ・カーの進入で前方のマシンを追い越せなかったが、そのあとの素晴らしい走りのおかげで首位の座を獲得できた。今日のニックの結果は素晴らしかった。何せ彼は 8 位からのスタートだったのだからね。ある期間、彼はトラック内でトップを走っていた。「ワン・ツー作戦」の決断は、非常にリスクを伴うものだった。特に長時間ソフト・タイヤで走行を続けることはニックの負担になりかねないものだから。今日の結果は 2 年半以上の経験と瞬時の決断力が絶妙に働いたものだと思うよ。」

詳細情報

2008 年 6 月 8 日、カナダ F1 グランプリにてロバート・クビサが同チーム選手のニック・ハイドフェルドに先立ち、力強い走りで優勝。BMW ザウバー F1 チームに初勝利をもたらした。

今回は同チームにとって、42 回目のグランプリ出場。

BMW ザウバー F1 チームは過去 8 回、表彰台を飾った記録がある。

2006 年 ハンガリー GP (ニック・ハイドフェルド第 3 位)

2006 年 イタリア GP (ロバート・クビサ/第 3 位)

2007 年 カナダ GP (ハイドフェルド第 2 位)

2007 年 ハンガリー GP (ハイドフェルド第 3 位)

2008 年 オーストラリア GP (ハイドフェルド第 2 位)

2008 年 マレーシア GP (クビサ/第 2 位)

2008 年 バーレーン GP (クビサ/第 3 位)

2008 年 モナコ GP (クビサ/第 2 位)

BMW ザウバー F1 チーム」の前身、「ザウバー F1 チーム」の最高記録は第 3 位。(過去 6 回達成)

BMW エンジン、F1 レース初優勝 :1982 年 6 月 13 日 (ネルソン・ピケ、ブラバム BMW、カナダ)。
BMW エンジン、F1 レース最終優勝 :2004 年 10 月 24 日 (ファン・パbro・モンターヤ、BMW ウィリアムズ F1 チーム、ブラジル)

ブラバムでは、1982 年から 85 年の間、8 回優勝。ベネトンでは 1986 年、伝説的なターボが優勝する。ウィリアムズ F1(2000 年-05 年)とのパートナーシップでは通算 10 回優勝。

1983 年、ネルソン・ピケが F1 ドライバーズ チャンピオンシップ (ブラバム BMW) で優勝。BMW ザウバー F1 チームとして参戦する以前、BMW は通算 GP 優勝 19 回、ポール・ポジション達成 33 回の記録を保持。

記録的レース結果

2006 年 1 月 16/17 日:BMW ザウバー F1 チーム、バレンシアで初参戦。BMW ザウバー F1 初の遠征。

2006 年 3 月 12 日:バーレーン GP に初参戦。

2006 年 3 月 19 日:マレーシア GP 第 2 回出場レースにて、ジャック・ヴィルヌーヴが初のワールドチャンピオンシップ 7 位に入賞。

2006 年 4 月 2 日 :3 回目の出場レース、オーストラリア GP にて、ハイドフェルトが 4 位、ヴィルヌーヴが 6 位入賞。

2006 年 8 月 6 日: ハイドフェルトがチーム第 13 回目ワールドチャンピオンシップ・レースにて初のトップ 3 入賞。クビサがブダペストにてハンガリー GP デビュー。

2006 年 9 月 10 日: クビサ、イタリア GP、モンツァにて 3 位入賞。チームは総合 2 位獲得。

2006 年 10 月: ヒンウィル風洞設備の 1 段階シフトが 3 段階まで搭載される。

2006 年 8 月 22 日: 初参戦年度の最終レースにて、BMW ザウバー F1 チーム、コンストラクターズ・チャンピオンシップにて 5 位に入賞。

2007 年 1 月 16 日: バレンシアにて BMW ザウバー F1.07 と BMW ザウバー F1 チーム参戦。

2007 年 6 月 10 日: ニック・ハイドフェルトが 2 位入賞。ロバート・クビサ、マシンが大破する大事

故に遭遇するが、奇跡的に無傷。

BMW ザウバーF1 チーム、2 シーズン目の成績 3 位。マクラーレン・メルセデスを除いた最終結果は 2 位決定。

チーム、スイス、ヒンウィルに新しい拠点を構える。2005 年度末以来、150 人の新しい従業員がチームに加わる。

2008 年 1 月 14 日: BMW ザウバーF1.08 がミュンヘンの「BMW ヴェルト」で結成される。

2008 年 3 月 23 日: ハイドフェルド、チームの最速新記録を樹立。

2008 年 4 月 5 日: クビサ、BMW ザウバーF1 チームで初のポール・ポジションを獲得。

詳しい情報は www.press.bmw-motorsport.com、

チームのオフィシャルウェブサイトは www.bmw-sauber-f1.com をご覧ください。